CAMEDIA

OLYMPUS DIGITAL CAMERA

*Chapter*

9

# パソコンへの読み込み

・*この章では、撮影した画像をパソコンに読み込む方法について説明しています。また、CAMEDIA Masterを使って読み込む方法や加工する方法についても紹介しています。*

# 画像をパソコンへ読み込む方法

撮影してカードに保存した画像は、パソコンなどに読み込んで、楽しむことができます。
このカメラで撮影し、カードに保存されている画像をパソコンに読み込むには、次の方法があります。

## カメラをパソコンに接続して読み込む（P. 186参照）

カメラのＵＳＢ端子による通信機能を使い、パソコンと接続しカメラに入っているカードから直接、画像データを読み込みます。この方法で読み込みを行うには以下の準備が必要です。ご使用のパソコンの環境によって使用できる方法が異なりますのでご注意ください。

| パソコンの環境 | 接続する端子 | 接続に必要なもの | |
|---|---|---|---|
| | | 接続ケーブル | 通信用ソフトウェア |
| **Windows 2000 professional/Me Mac OS 9以上(＊)** | USB端子 | 専用USBケーブル（CB-USB1） | 特に必要ありません。 |
| **Windows 98/98 Second Edition** | USB端子 | 専用USBケーブル（CB-USB1） | USBドライバ(＊) |

＊：・USBドライバはCAMEDIA Master 2.5のCD-ROMに含まれています。また、オリンパスのホームページから最新版をダウンロードできます。
・Mac OS 8.6の場合は、USBを標準装備してUSB MASS Storage Support 1.3.5により動作しているMacintoshパソコンでのみ動作確認されています。USBのサポートについては、アップルコンピュータ社へお問い合わせください。
・USBによる接続の場合は、Windowsのエクスプローラなどのファイル管理ソフトで画像データを読み込んだり消去することができます。
・専用ケーブルとCAMEDIA Masterを同梱した便利な接続キットをご用意しています。

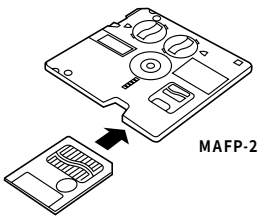
**注意**

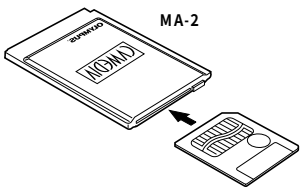
- **パソコンがUSB端子を装備していても、次の環境での動作保証はできませんのでご注意ください。**
  **Windows 95からWindows 98へアップグレードしたパソコン。**
  **Windows 95、Windows NT 4.0。**
- **Mac OSならびにUSB MASS Storage Supportのアップグレードバージョンについての動作保証はできませんのでご注意ください。**

## カードから直接読み込む

カード用のアダプタを使うと、カメラをパソコンと接続しなくても画像をパソコンに読み込むことができます。それぞれの機器の最新情報については、当社カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

| パソコンの種類 | 必要なカードアダプタ |
|---|---|
| 3.5型（インチ）フロッピディスクドライブを装備するパソコン | フロッピディスクアダプタ<br>FlashPath MAFP-2N |
| PCカードスロットを装備するパソコン | PC カードアダプタ<br>MA-2 |
| USB端子を装備するパソコン | スマートメディア・リーダ・ライタ<br>MAUSB-2 |




**注意**

- **パソコンの動作環境やカードの記憶容量等により、ご使用になれない場合があります。ご使用前にお確かめください。**
- **お取り扱いについては、各機器の取扱説明書をお読みください。**

# 通信ケーブルを使いパソコンと接続する

ここでは、カメラとパソコンを通信ケーブルを使って接続して画像を読み込む方法について説明します。お使いのパソコンの環境によって使用できる方法が異なりますのでご注意ください。（P. 184参照）

## USBケーブルによる接続

- Windows 98、98 Second EditionがインストールされているDOS/V（PC/AT互換）機の場合は、USBドライバをあらかじめパソコンにインストールされている必要があります。インストール方法については、USBドライバのインストールガイド（CAMEDIA Masterをお使いの場合は、CAMEDIA Masterのインストールガイド）をお読みください。
- Mac OS 8.6 がインストールされているApple Macintoshの場合は、USBのサポートのバージョンがUSB MASS Storage Support 1.3.5であることをお確かめください。

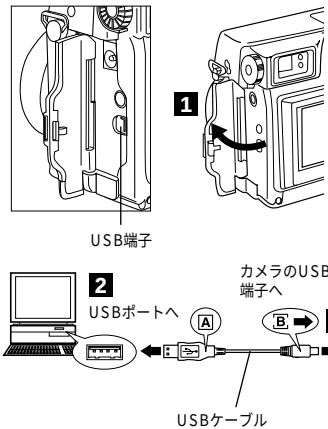
**1** **カメラのコネクタカバーを開けます。**

**2** **USBケーブルのプラグ部にAと刻印されている側を、パソコンのUSB端子に差し込みます。**

**3** **USBケーブルのプラグ部にBと刻印されている側を、カメラのUSB端子に差し込みます。**

**4** **カメラのモードダイヤルを▶に合わせます。**

- パソコンでは、カメラで選択されているカードをひとつのドライブ（通常はリムーバブルディスク）として認識します。Macintoshの場合は、デスクトップ上に新しいフォルダとして表示されます。
- カード内の画像は、Windowsのエクスプローラのようなファイル管理ソフトでフロッピディスクやMOでファイルを扱うように、ファイルとして扱うことができます。
- 以下のときには、パソコンとの接続を一度止める必要があります。（P. 188参照）
  ・モードを切り替える。
  ・カメラの電源を切る



**メモ**

・パソコンに読み込んだ画像は、CAMEDIA MasterやPaint Shop Pro、Photoshopなどのグラフィックソフトやインターネット閲覧ソフト（Netscape Communicator/Microsoft Intrenet Explorerなど）のJPEGを扱えるアプリケーションソフトウェアでも見ることができます。詳しくは対応ソフトのマニュアルを参照してください。

## カードの取り外しかた

パソコンが誤動作する場合がありますので、カードを取り出す際は必ず以下の手順で操作してください。（誤動作を起こした場合USBケーブルを接続しなおすかパソコンを再起動する必要があります。）

**● Windowsの場合**

**1 カメラのカードアクセスランプが消えていることを確認します。**

**2 「マイコンピュータ」上から「ドライブアイコン（リムーバブルディスク）」を選択してマウスで右クリックをしてメニュを表示させます。**

**3 メニューから「取り出し」を選択して左クリックします。**

**4 カメラのカードカバーを開けてカードを取り出します。（P. 33参照）**

**● Macintosh の場合**

**1 カメラのカードアクセスランプが消えていることを確認します。**

**2 デスクトップ上の「ドライブアイコン」を選択して「ごみ箱」に捨てます。**

または、「特別」メニューから「取り出し」を選択します。

**3 カメラのカードカバーを開けてカードを取り出します。（P. 33参照）**

## USBケーブルの取り外し手順

USBケーブルを取り外す場合は、以下の手順にしたがって行ってください。

● **Windows98/Me、MacOSの場合**

カメラのカードアクセスランプが消えていることを確認してから、USBケーブルを取り外してください。

● **Windows2000の場合**

次の（A）（B）どちらかの手順で取り外してください。

**（A）タスクバーの をクリックする**

① タスクバー（パソコン画面右下）に表示されている「ハードウェアの取り外しまたは取り出し（下図の円内の部分）のアイコンを左クリックします。

② ドライブを停止するメッセージが表示されたら、メッセージを左クリックします。

③ 安全に取り外しできることを伝える「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

④ USBケーブルを取り外します。

**（B）タスクバーの をダブルクリックする**

① タスクバー（パソコン画面右下）に表示されている「ハードウェアの取り外しまたは取り出し（下図の円内の部分）のアイコンをダブルクリックします。

② ハードウェアの取り外し画面が表示されたら、ハードウェアデバイスの一覧からカメラを選択して「停止」ボタンをクリックします。

③ 安全に取り外しできることを伝える「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

④ USBケーブルを取り外します。




**注意**

- **誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中はカメラの電源を切ったりモードを切り替えないでください。**
- **パソコンとの接続中（通信中）は、スリープ状態（電池節約状態）になったり自動的に電源が切れたりしません。長時間ご使用になるときは、ACアダプタをお使いください。**
- **パソコンに接続したときは、カメラのボタン類は一切動作しなくなります。**
- **USBハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないで直接パソコンとカメラを接続してください。**

# CAMEDIA Master機能紹介

別売のCAMEDIA Masterをお使いになると、Windows98/98SE（Second Edition）使用時でのUSBドライバのインストールからUSB接続による画像の読み込みまでが簡単にできるようになります。また簡単な画像の処理などの機能を備えています。操作方法についてはCAMEDIA Masterのオンラインマニュアルを参照してください。

**● 画像ビューワー**

カメラからダウンロードした画像、ディスク上の画像ファイルのインデックス表示、単画面表示を行います。また、エクスプローラ風のフォルダ階層表示とドラッグ&ドロップによる操作で、画像の管理が簡単に行えます。更に動画の再生や静止画および動画のスライドショー（自動再生）もできます。動画の任意のフレームからの切り出しもできます。

**● 一括処理**

インデックスウィンドウから画像の回転、フォーマット変換、リネーム等の一括処理が可能です。

**● 加工**

回転（右90度、左90度、180度、任意角度）、色数変更、リサイズ、テキスト挿入、各種フィルター処理（明るさ、コントラスト、カラーバランス、シャープネス等）が可能です。

**● カメラ連携機能**

「パノラマ合成」　：標準カードのパノラマモードで撮影した画像を使用して、パノラマ合成画像が作成できます。

「テンプレート合成」：別売のテンプレートカードに、カメラで合成可能なオリジナルテンプレート画像をアップロードできます。

**● 印刷**

単画像印刷の他、単画像日付入り印刷、分割シール紙への印刷を行います。

CAMEDIA Masterの詳しい使い方については、CAMEDIA Masterのオンラインマニュアルをお読みください。